

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 研究業務状況

(1) 二部門以上共通

1. タイ・ラオスの伝統文化研究
[担当：伝統工芸部門、伝統芸能部門]
2. 沖縄伝統文化研究資料の収集・データベース作成
[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]

(2) 芸術文化学部門

1. 地域文化の調査研究
 - a 『琉球国由来記』の研究 [担当：波照間永吉教授]
 - b 沖縄の神歌の調査研究
 - c 波照間島の伝統文化の調査研究 [担当：波照間永吉教授・川平成雄調査員・平良勝保調査員・西岡敏調査員・飯田泰彦調査員・久貝典子調査員・照屋理調査員]
2. 『鎌倉芳太郎資料集ノート篇 (2)』の編集・刊行 [担当：波照間永吉教授]
3. 沖縄凶像データベースの作成 [担当：尾形希和子助教授]
4. 沖縄文化の比較文化論的研究 [担当：波平八郎助教授]
5. 沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「鎌倉芳太郎をめぐる人と場所」
[担当：波照間永吉教授]

平成18年10月6日～12月8日（午後7時～9時）

- 第1回 10月6日 波照間永吉（沖縄県立芸術大附属研究所教授）
「鎌倉芳太郎の沖縄研究」
- 第2回 10月13日 久貝典子（沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員）
「鎌倉芳太郎と伊東忠太」
- 第3回 10月20日 田名真之（沖縄国際大学教授）
「鎌倉芳太郎と尚家」

- 第4回 10月27日 山本正昭（沖縄県立埋蔵文化財センター専門員）
「鎌倉芳太郎と首里－首里城・円覚寺－」
- 第5回 11月2日 久貝典子（沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員）
「鎌倉芳太郎と紅型－紅型研究で出会った人・資料－」
- 第6回 11月10日 栗国恭子（沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員）
「鎌倉芳太郎と那覇－波之上・崇元寺周辺－」
- 第7回 11月17日 栗国恭子（沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員）
「鎌倉芳太郎と末吉安恭」
- 第8回 11月24日 栗国恭子（沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員）
「鎌倉芳太郎と比嘉朝健－琉球絵画の光と陰－」
- 第9回 12月1日 波照間永吉（沖縄県立芸術大学附属研究所教授）
「鎌倉芳太郎と宮古・八重山」
- 第10回 12月8日 伊従 勉（京都大学大学院教授）
「鎌倉芳太郎と伊是名・山原：鎌倉芳太郎の琉球固有の
宗教研究について序説」

6. おもろ研究会（平山良明代表）開催 [担当：波照間永吉教授]

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄染織の研究 [担当：柳 悦州教授]
 - a 日本民藝館所蔵沖縄染織品調査（1月、5月、8月、9月、12月）
 - b 沖縄県立図書館所蔵「東恩納寛惇文庫『琉球染織』」資料調査
2. 織物技法研究 [担当：柳 悦州教授]
 - a 腰機の復元と紋織りの研究
 - b 八重山地域の腰機調査
3. 西表の植物染料の調査研究 [担当：柳 悦州教授・本多摂子共同研究費・武笠明子共同研究員]
4. タイ・ラオス織物文化研究 [担当：柳 悦州教授]
5. 鎌倉芳太郎紅型型紙の画像データベース作成と研究 [担当：柳 悦州教授・平田美奈子共同研究費]
6. 公開講座「織物講座中級－デザイン編－」全8回 [担当：柳 悦州教授]

- 第1回 6月15日(木) 小倉美左(沖縄県立芸術大学教授)
「説明・スケッチ」
- 第2回 6月22日(木) 小倉美左(沖縄県立芸術大学教授)
岡野宏宣(沖縄県立芸術大学嘱託員)
「顔彩スケッチ」
- 第3回 6月29日(木) 小倉美左(沖縄県立芸術大学教授)
岡野宏宣(沖縄県立芸術大学嘱託員)
「顔彩スケッチ」
- 第4回 7月6日(木) 小倉美左(沖縄県立芸術大学教授)
岡野宏宣(沖縄県立芸術大学嘱託員)
「形と色の抽象化」
- 第5回 7月13日(木) 柳悦州(沖縄県立芸術大学附属研究所教授)
「織物デザイン化」
- 第6回 7月20日(木) 柳悦州(沖縄県立芸術大学附属研究所教授)
「織物デザイン化」
- 第7回 7月27日(木) 柳悦州(沖縄県立芸術大学附属研究所教授)
「織物デザイン」
- 第8回 11月9日(木) 祝嶺恭子(沖縄県立芸術大学附属研究所客員教授)
柳悦州(沖縄県立芸術大学附属研究所教授)
「講評とまとめ」

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽調査研究 [担当: 久万田晋助教授]
 - a 奄美大島の伝統芸能の調査研究(8月、10月)
 - b 喜界島の伝統芸能の調査研究(11月)
 - c 沖縄本島中部の音楽芸能の調査研究
2. 沖縄奄美民俗音楽・芸能関係資料の収集 [担当: 久万田晋助教授]
3. アジア諸地域の伝統音楽芸能調査研究
 - a インドネシア・バリ島の音楽芸能の調査研究 [担当: 梅田英春助教授]
 - b タイ南部(プーケット島)の伝統芸能調査 [担当: 久万田晋助教授、

梅田英春助教授]

4. 文化講座（無料）「アジア各地のポピュラー音楽」全7回 [担当：久万田晋
助教授、梅田英春助教授]

- 第1回 1月16日（火） 講師：久万田晋（附属研究所助教授）
「アジア諸地域におけるポピュラー音楽の受容」
- 第2回 1月23日（火） 講師：梅田英春（音楽学部助教授）
「インドネシアのポピュラー音楽の展開」
- 第3回 1月30日（火） 講師：長嶺亮子（芸術文化科学研究科助手）
「中国のポピュラー音楽の展開」
- 第4回 2月9日（金） 講師：井上貴子（大東文化大学教授）
「インドのポピュラー音楽 その1」
- 第5回 2月10日（土） 講師：井上貴子（大東文化大学教授）
「インドのポピュラー音楽 その2」
- 第6回 2月21日（水） 講師：植村幸生（東京芸術大学助教授）
「韓国のポピュラー音楽の展開」
- 第7回 2月27日（火） 講師：久万田晋（附属研究所助教授）
「日本・沖縄におけるポピュラー音楽の受容と展開」

II 主要研究業績

1) 研究所員主要研究業績

1. 著書・編書 2. 論文 3. 作品発表・公演 4. 研究発表
5. 解説等 6. 講演・放送 7. その他

2) 助成研究

1. 平成18年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研
究
a 研究代表者となっているもの b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学芸術振興財団助成研究
3. その他

(1) 研究所長

波照間永吉（教授・専任教員）

1. 『琉球・沖縄芸能史年表』（第2集）（共編）国立劇場おきなわ
平成18年3月31日
1. 『記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 小浜島の芸能 民俗文化財地域伝承活動（資料作成・周知）報告書』竹富町教育委員会
平成18年3月31日
2. 「琉球・沖縄芸能史年表総説」『琉球・沖縄芸能史年表』（第2集）（共編）国立劇場おきなわ
2. 「小浜島の芸能の特質」『記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 小浜島の芸能 民俗文化財地域伝承活動（資料作成・周知）報告書』竹富町教育委員会 平成18年3月31日
2. 「八重山歌の比喩三題」『うらそえ文芸』11号 浦添市文化協会
平成18年5月2日
2. 「『おもろさうし』と玉城」『玉城村史』第8巻上 文献資料編
平成18年3月31日
2. 「玉城村関係古謡」『玉城村史』第8巻上 文献資料編
平成18年3月31日
2. 「『琉球国由来記』玉城間切関係資料」『玉城村史』第8巻上 文献資料編
平成18年3月31日
2. 「『琉球国旧記』玉城間切関係資料」『玉城村史』第8巻上 文献資料編
平成18年3月31日
2. 「小浜島の盆行事の芸能」（共著）『記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 小浜島の芸能 民俗文化財地域伝承活動（資料作成・周知）報告書』竹富町教育委員会 平成18年3月31日
2. 「『想像の沖縄』沖縄研究国際シンポを振り返る」『琉球新報』
平成18年10月13日
4. 「“敵討ち物”組踊と伝承」奄美・沖縄民間文芸学会講座 沖縄国際大学
平成18年3月25日
4. 「南島歌謡の比喩表現 -『おもろさうし』を中心に-」第5回沖縄研究

国際シンポジウムベネチア大会 ベネチア：カ・フォスカリ大学
平成18年9月14日

4. 『『おもろさうし』の神出現の表現』 國學院大學21世紀プログラム「神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成」 “フォーラム来訪する神・降臨する神” 國學院大學 平成18年9月22日
4. 「首里城をとりまく水」 地球研サテライト・シンポジウム「世界遺産・人・水」 京都：地球研講演室 平成18年11月8日
6. 「琉球古典文学の成立」 早稲田大学総合講座：沖縄学・沖縄学の構築 平成18年4月28日
6. 「『おもろさうし』の比喩表現」 那覇市文化協会文芸部会 沖縄船員会館 平成18年6月17日
6. 「鎌倉芳太郎の沖縄研究」 沖縄県立芸術大附属研究所公開講座 平成18年10月6日
6. 「琉球文学にみる琉球語表現の楽しみ」 教育資料センター連続講座 「島くとうば ありんくりん」 沖縄県教育資料センター 平成18年10月13日
6. 「もう一つの沖縄」 早稲田大学総合講座：沖縄学・沖縄学の構築 平成18年11月17日
6. 「鎌倉芳太郎と宮古・八重山」 沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座 平成18年12月1日
6. 「沖縄の歴史と文化」 ばしふいっくびーなすニューイヤークルージング講座 ばしふいっくびーなす 平成18年12月29日
7. 「鼎談 沖縄から見た日本海」 『日本海学の世紀6 海の力』 株式会社角川学芸出版 平成18年3月31日
7. 「対談 ローザ・カーロリ×波照間永吉 辺境から見る歴史」 『情報やいま』 平成18年5月1日
7. 「書評 大濱永宣『オヤケアカハチ・ホンカワラの乱と山陽姓一門の人々』 『琉球新報』 平成18年7月16日
7. 「書評 石垣金星『西表島民謡誌と工工四』 『沖縄タイムス』 平成18年9月6日

7. 「書評 平山良明『時を織る』』『沖縄タイムス』平成18年12月9日
7. 「巻頭言 地域言語の復活と民間文芸」『奄美沖縄民間文芸学』第6号
平成18年9月20日

(2) 芸術文化学部門

尾形希和子（助教授、兼任）

- 1) 1. 『レオノール・フィニー境界を侵犯する新しい種』2006年8月 東信堂
1. (翻訳) マリオ・プラーツ『パロックのイメージ世界－綺想主義研究』
2006年6月 みすず書房 共訳
6. 講座「ロマネスクの怪物の図像について」第二回芸術学専攻教養講座
沖縄県立芸術大学 2006年11月30日
6. ラジオ放送 ANA グループプレゼンツプレミアムラウンジ「特集アートの秋の旅美術館へ行こう」
「ボルゲーゼ美術館」2006年10月30日
「テート・ブリテンとテート・モダン」2006年10月31日
「ベルギー王立美術館」2006年11月1日
「ピッティ宮とボボリ公園」2006年11月2日
「ボルゲーゼ美術館」2006年10月3日
7. 「シャルル・マーニュの夢」『地中海学会月報』2006年3月28日（3頁）

波平 八郎（助教授、兼任）

- 1) 2. 「『執心鐘入』と浮世草子－若松と「衆道」－」『沖縄県立芸術大学紀要』第14号 平成18年3月
4. 「『椿説弓張月』に描かれた沖縄」第5回沖縄研究国際シンポジウム
ベネツィア大学（イタリア）平成18年9月
7. 「情報テクノロジー－論理的思考・論文の書き方－」認定看護管理者教育「セカンドレベル」研修 沖縄県看護協会 平成18年9月
- 2) 3. 「現代沖縄文化の都市空間」公益信託宇流麻学術研究助成基金 研究代表者 平成17年7月～平成18年5月

(3) 伝統工芸部門

柳 悦州（教授、専任教員）

- 1) 2. 「トルコとコーカサス、およびその周辺地域の織物技術と織機」『続シルクロード織機研究』（シルクロード学研究所センター紀要）pp.39-49 平成18年3月31日
2. 「続シルクロードの織機」（共著者：吉本忍）『続シルクロード織機研究』（シルクロード学研究所センター紀要）pp.65-256 平成18年3月31日
2. 「ラオスの平整経式腰機」『沖縄芸術の科学』18号 pp.27-44 平成18年3月31日
3. 経緋帯「再生」第79回《国展》東京都立美術館 平成18年4月
3. 絹経緋「再生Ⅲ」沖縄県立芸術大学開学20周年記念《平和祈念公園芸術祭》沖縄県立平和祈念資料館 平成18年10月
3. 経緋タピストリー「再生Ⅳ」国展工芸部80回記念《工芸の継承と展開》西武アートフォーラム（東京）平成18年11～12月
5. 「調査日誌」『続シルクロード織機研究』（シルクロード学研究所センター紀要）pp.51-63 平成18年3月31日
6. 講座「織物デザイン化」附属研究所公開講座「織物講座中級ーデザイン編ー」第5回 附属研究所 平成18年7月13日
6. 講座「織物デザイン化」附属研究所公開講座「織物講座中級ーデザイン編ー」第6回 附属研究所 平成18年7月20日
6. 講座「織物デザイン」附属研究所公開講座「織物講座中級ーデザイン編ー」第7回 附属研究所 平成18年7月27日
6. 講座「講評とまとめ」附属研究所公開講座「織物講座中級ーデザイン編ー」第8回 附属研究所 平成18年11月9日
7. タイ・ラオス織物調査 平成18年3月22日～30日
7. ギャラリートーク「展示資料解説」沖縄県立芸術大学開学20周年記念 附属図書・芸術資料館収蔵品展《沖縄の文化 つながれてゆくもの・わざ》平成18年11月4日
7. 「ラオス織物を極める」地球の歩き方07～08年度版『ラオス』pp.248-249 ダイヤモンド社 平成18年12月15日

- 2) 3. 「自然と共存できる植物の織物利用への可能性」 総合地球環境学研究所
「亜熱帯島嶼における自然環境と人間社会システムの相互作用」
共同研究 共同研究代表者：朝岡 康二
3. 「第2次世界大戦前後の民芸運動と女子美術大学のかかわりについて」
女子美術大学共同研究 共同研究代表者：清水明子

島袋 常秀（教授、兼任）

- 1) 3. 「鉄絵草文皿」他2点《06やちむん展》読谷村美術館 平成18年2月
3. 「抜絵呉須釉皿」第79回《国展》東京都立美術館 平成18年4月
3. 島袋常秀と仲間達展「現代陶芸展」作品30点 沖縄タイムス1階ホール
平成18年7月22日～30日
3. 「抜絵呉須釉皿」《沖展》浦添市体育館 平成18年3月
3. 「抜絵呉須釉皿」「赤絵角皿」沖縄県立芸術大学20周年記念芸術祭 沖縄
県立平和祈念資料館 平成18年10月
5. 作品解説 沖展 平成18年3月26日
5. 作品解説 浜田庄司展 浦添市美術館 平成18年5月6日
6. 「壺屋焼の技術・技法について」講演 平成18年8月12日おきなわ県民
カレッジ

小倉 美左（教授、兼任教員）

- 1) 3. パネル「夏のひかりの中に」
パネル「鎮静」
パネル「でいごの記憶」 県立芸大開学20周年平和記念公園芸術祭
沖縄県立平和祈念資料館 平成18年10月
3. 飾り布「雲の月」《新匠工芸会》東京都美術館 京都市美術館
7. 韓国 古典文様調査
- 2) 1. a 基礎研究 (C) 一般 18520092 「沖縄古典文様に見る自然観の図像
化における時空間比較」研究者代表者 110万

(4) 伝統芸能部門

久万田晋（助教授、専任教員）

- 1) 2. 「チョンダラー系歌謡をめぐる予備的考察」『日本・中国・沖縄における民間文化交流の研究』（甲南大学総合研究所叢書85）pp.57-70 平成18年3月30日
2. 「クイチャーフェスティバルークイチャーにみる伝統と創作の拮抗ー」『沖縄県文化財調査報告書145集 宮古のクイチャー調査報告書』沖縄県教育委員会 pp.190-201 平成18年3月
4. 「流行歌にみる南島エキゾティシズム」第22回民族藝術学会大会・シンポジウム《沖縄の民族藝術とエキゾティシズム》事例報告 那覇市：沖縄県立芸術大学 平成18年5月28日
4. 「ポピュラー音楽における伝統と民族アイデンティティー宮古出身ミュージシャンを例にー」日本学術振興会人文・社会科学振興プロジェクト・芸術文化における「伝統的なもの」研究会 松戸市：聖徳大学 平成18年8月21日
4. 「ポピュラー音楽における伝統・創造と民族アイデンティティー宮古出身ミュージシャンを例にー」第5回沖縄研究国際シンポジウム〈想像の沖縄：その時空間からの挑戦〉（平成18年9月14～16日）第十パネル〈エキゾチックな沖縄の宣伝〉イタリア：ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学 平成18年9月16日
4. 「沖縄の伝統芸能の分類と近代の展開」文化庁第4回国際文化フォーラム・池宮座談会〈芸能と文化〉ーアジアの中の琉球芸能ーにパネリスト・ディスカッションコーディネーターとして参加・発表 浦添市：国立劇場おきなわ小劇場 平成18年10月26日
6. 講演「沖縄伝統芸能の展開」歯立会 那覇市：レストラン・シェルブルー 平成18年1月31日
6. 講演「沖縄の音楽の歴史ー民俗芸能の展開と共にー」コザ音楽観光ガイド養成講座 沖縄市：コリンザ2F 平成18年3月16日
6. 講演「沖縄の伝統芸能 その1 神祭りー民俗芸能」日本スパカレッジ 講座那覇市：日本スパカレッジ沖縄 平成18年6月7日

6. 講演「沖縄の民俗芸能から沖縄ポップまで」海邦総研勉強会 那覇市：
(株)海邦総研 平成18年6月14日
6. 講演「沖縄の伝統芸能 その2 エイサーー新民謡ー沖縄ポップ」日本
スパカレッジ講座 那覇市：日本スパカレッジ沖縄 平成18年7月12日
6. 講演「沖縄の音楽の歴史ー民俗芸能の展開と共にー」コザ音楽観光ガイ
ド養成講座 沖縄市：コリンザ2F 平成18年8月10日
6. 講演「沖縄の音楽の歴史ー新民謡から沖縄ポップまでー」コザ音楽観光
ガイド養成講座 沖縄市：コリンザ2F 平成18年10月19日
6. 講演「沖縄の伝統芸能 その3 沖縄のポピュラー音楽」日本スパカレッ
ジ講座 那覇市：日本スパカレッジ沖縄 平成18年10月25日
7. 「沖縄奄美の音楽芸能の現代的展開」（発表記録）『季刊沖縄』第30号
(2006冬・春) 財団法人沖縄協会 pp.33-36 平成18年4月30日
- 2) 1. b「沖縄県宮古島における儀礼歌謡の収集・研究とデータベース化」平
成16～18年度基盤研究B (2) 研究代表者：玉城政美 (琉球大学教授)
1. b「沖縄における身体の近代化ー御冠船踊りの需要をめぐってー」平成
17～19年度基盤研究B 研究代表者：板谷徹 (沖縄県立芸術大学教授)
3. 「日本・中国・沖縄における民間文化交流の研究」平成18年度甲南大学
総合研究所共同研究 研究代表者：高阪薫 (甲南大学教授)

梅田 英春

- 1) 2. 「バリのサブ・レゲール儀礼におけるワヤン演目の研究ーイ・マデ・クン
バルの上演事例から」『沖縄芸術の科学』18：pp.67-97 平成18年3月
2. Between Adat and Agama: The Future of the Religious Role of
the Balinese Shadow Puppeteer, Dalang. 『アジア・アフリカ研究』
5(2)：pp.121-136 平成18年3月
2. 「『アダット』と『アガマ』の狭間で」杉島敬志・中村潔編『現代インド
ネシアの地方社会ーミクロロジーのアプローチ』NTT出版 pp.265-284
平成18年7月
2. 「はじめに」(特集：国家がかたちづくる「芸術」ー音楽・芸能史におけ
る文化政策)『東洋音楽研究』71：pp.107-109 平成18年8月

2. 「ワヤンの人形遣い」になったバリのダランーバリ州政府の文化政策により剥奪されたダランの宗教性」(特集：国家がかたちづくる「芸術」－音楽・芸能史における文化政策)『東洋音楽研究』71：pp.119-128 平成18年8月
 3. 《バリ島のガムランによる演奏と舞踊》(埼玉県新座市西堀・新堀コミュニティセンター)におけるトークと演奏 平成18年2月5日
 3. 《第2回民族音楽の夕べ》(沖縄県恩納村立博物館)におけるトークと演奏 平成18年4月15日
 3. 《沖縄県立芸術大学開学20周年記念 平和祈念公園芸術祭オープニングコンサート》(沖縄県平和祈念資料館)における企画 トークと演奏 平成18年10月1日
 3. 《沖縄県立芸術大学開学20周年記念 平和祈念公園芸術祭ガムラン公演》(沖縄県平和祈念資料館)における企画、トークと演奏 平成18年10月22日
 3. 《琉璃の宵コンサート》(沖縄県読谷村座気味城跡)におけるガムラン演奏 11月12日
 4. 「バリ島のワヤン人形の手ー上演におけるその役割と表現」民族芸術学会第22回大会(沖縄県立芸術大学) 平成18年5月27日
 4. 「沖縄民族芸術とエキゾチシズム」(シンポジウムパネリスト)(沖縄県立芸術大学) 平成18年5月28日
 5. 東洋音楽学会第56回大会発表コメント「皆川厚一：バリ島のガムランにおける番いリズムの位相変換性と拍節法」『東洋音楽学会会報』66：pp.3 平成18年1月
 5. 東洋音楽学会第56回大会発表コメント「伏木香織：『バリ文化』の表象－プロフェッショナル化したガムラン奏者たち」『東洋音楽学会会報』66：pp.3-4 平成18年1月
 7. 「音霊に『平和』を込めて(論壇)」『沖縄タイムス』朝刊 平成18年10月5日
- 2) 1 b. 「沖縄における近代の身体化－御冠船踊りの受容をめぐる－」(研究代表者：板谷徹 基盤研究(B)(一般))

3. 国立民族学博物館共同研究「インドネシアにおける「近代」の咀嚼」研究代表者：鏡味治也（平成18年度）
3. 国立民族学博物館共同研究「伝統芸能の映像記録の可能性と課題」研究代表者：福岡正太（平成18年度）
3. 大学共同利用機関法人連携研究「日本とユーラシアの交流に関する総合的研究」研究代表者：細川周平（平成18年度）

比嘉康春（教授 兼任教員）

- 1) 3. 平成18年1月8日 島袋本流紫の会50周年記念公演地謡
3. 平成18年1月14日 国立劇場おきなわ企画公演第21回琉球舞踊公演「新春琉舞名人選」地謡
3. 平成18年4月16日 第58回NHK「沖縄の歌と踊りのつどい」地謡
3. 平成18年5月27日 国立劇場おきなわ企画公演第25回琉球舞踊公演「女形の会」地謡
3. 平成18年6月17日 国立劇場おきなわ企画公演第3回研究公演組踊「宿納森の獅子」地謡
3. 平成18年7月17日 真境名佳子を偲ぶ会 舞踊地謡
3. 平成18年11月25日 国立劇場おきなわ企画公演第29回琉球舞踊公演「創作舞踊」地謡
3. 平成18年12月2日 玉城盛義33回忌追善公演地謡
3. 平成18年12月9日 国立劇場おきなわ企画公演「人間国宝4人の会」組踊「銘苺子」地謡
3. 平成18年12月10日 島袋光晴梅公演 舞踊、組踊「花売の縁」地謡
4. 平成18年7月1日 沖縄芸能史研究会第31回研究発表大会「芸大での古典音楽指導について」の実践報告
6. 平成18年8月30日～9月1日 神戸大学発達科学部「日本伝統芸能論」集中講義「琉球古典音楽と組踊について」非常勤講師
7. 平成18年8月31日 野村流古典音楽保存会50周年記念誌「琉球古典音楽演奏雑感」寄稿